

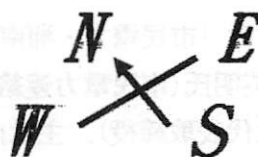
藤沢

2016年7月1日

第266号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



主
な
記
事

- ・市民発電所をいっしょにつくろう
- ・海と共に生きる困難と希望
- ・温暖化防止CO2削減石油で新ガス登場
- ・NO2市民測定値(2015.12)・気象情報

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

第4回藤沢せっけんまつり

2016年7月9日(土) 12:00~15:00

フジサワ名店ビル6階イベントホール

せっけんまつり?? と思われた方、是非お出かけ下さい!!

まだメジャーなまつりではありませんが、とっても意義深いまつり、よろこびが湧いてくるまつり、と思っています。

会場は狭いのですが、中に一步入ると、熱気が溢れしかも和気あいあいの雰囲気満ちています。

遠く九州・埼玉から県内川崎・横浜から、そしてご当地藤沢から、せっけんメーカー5社が参加、おまつり価格でせっけん類の販売です。せっけんを使っています、係わっていますという事業者も色々の企画で参加しています。会場の真ん中では子供達がマイせっけん¹やバスボム作りに夢中です。洗浄力は強いのに手肌や環境にやさしいせっけんの良さを伝える実演やミニ実験もやっています。

主催はせっけん使用推進35年の藤沢市せっけん推進協議会、後援は環境都市藤沢市です。

市と市民が一体となって洗剤問題に係わっていこう、と1981年に発足した藤沢市洗剤対策協議会が

『市民の健康と環境を守るためにせっけんを使いましょう』と活動を始めた時、いずれいつかこの湘南の地で多くの市民の方々と、安全で安心なせっけんを楽しむ場を持ちたいと思っていました。その思いも込めて北口地下展示場を使つての展示発表を(せっけんフェスティバル)と称してきました。

2010年に市民団体藤沢市せっけん推進協議会として再スタートする時上記フェスティバルは藤沢せっけん展(今年も開催7/7~7/18)と改称し念願の藤沢せっけんまつりを企画開催したのです。

まつりの目的に賛同しせっけんメーカーが一堂に会して交流し市民にまつり価格で販売しつつせっけん製造の理念を語りかけている様子は素晴らしいものです。きれいな水といのちを守るためにはせっけんを!合成洗剤はもう使わない。要するに有害化学物質は人間らしい生活には相容れない、ということが自然に伝わってくるのです。

笛・太鼓は無いけれど、どのスペースでも笑顔の語りかけ、語り合いこの明るいざわめきが、藤沢せっけんまつりです。

(PRTR法で合成洗剤は有害化学物質に認定されています)

(手塚弘子)



アガパンサス(紫君子蘭)梅雨空に咲く薄紫の花
(湘南台東口で)

市民発電所を一緒につくいましょう！！

身近なエネルギーで地域循環をすすめている「地産地消エネルギー藤沢市民の会」総会と記念講演が6月12日藤沢商工会館ミナパークで行われ、36名参加で盛況でした。

記念講演テーマは「市民電力・湘南での可能性を探る」、講師は竹村英明氏(市民電力連絡会会長・イージーパワー株式会社代表取締役)。主な内容は、

- ①地域エネルギー事業とは、
- ②いろいろな立ち上げ事例、
- ③立ち上げ準備(ステークホルダーを集める)
- ④立ち上げ準備(発電所候補地を集める)、
- ⑤立ち上げ準備(事業主体を決める)、
- ⑥資金調達のいろいろ、
- ⑦エネルギー政策決定のしくみ、
- ⑧電力自由化と再生可能エネルギー、
- ⑨再エネブロックと自由化の現況、
- ⑩地域エネルギー事業と再エネネットワークでした。

地域エネルギー事業事例では、①飯田市・おひさま進歩エネルギー 市民出資による分散型メガソーラー(屋根借り発電の元祖?)、②調布市・調布まちなか発電 調布未来エネ協。全額調布信金ノンリコースローン(担保物権のみ責任)、③市民エネルギーちば合同会社 無農薬有機農産品の流通から、農業と共存するソーラーシェアリング、④多摩市・多摩電力(たまエンパワー) 多摩エネ協。

講演終了後「地産地消エネルギー藤沢市民の会」総会が行われ、会のめざす方向として、地球温暖化対策の推進と安全な電力を増やし、災害時にも活用出来る太陽光発電などの再生可能エネルギーを藤沢市内で増やすことが確認され、市民発電所第1号建設のため、市民共同太陽光発電所の選定。資金計画を含めた市民発電所事業計画策定プロジェクト立ち上げが決定された。さらに、「再生可能エネルギーについての講座・ワークショップ等」の開催。また、調査活動として日大生物資源科学部糸長研究室と連携し、「藤沢市民による電力エネルギー地産地消実態と可能性に関する研究」による、住宅エネルギー地産地消戦略解明に協力することとなった。

(地産地消エネルギー藤沢市民の会代表 宮地俊作)。

温暖化防止 CO2 を 50%削減石油 CO2 100%削減新ガス登場

富士吉田市にあるエネコホールディングスが、最近注目を浴びている。

水と油を界面活性剤で完全融合することに成功し、50%温室効果ガス削減を実現した。水道水・川の水・海水何でもよく、軽油・重油・灯油・ガソリン何でも元の油と同じ性能を持つ油となる。今まで水の混合率は20%が限界とされていたが、分子レベルまで超微細化するナノエマルジョン技術により、70%水が実現した。

(最高 87.5%加水)

融合機械はすべてリースで、燃料費用はリース代を含めても従来の約半分に。経済産業省の1年にわたる分析試験を経て、山梨県では加水分にも1㍓32円の税金を納め、今年1月から公道をこのエマルジョン軽油を使ったバスが走っており、国内はもとより、外国人記者クラブ、BBCやCNNなどのマスコミ取材が増えている。

温暖化防止に配慮しながら産業開発を急ピッチで進めるミャンマーやバングラデシュ、また韓国や中国、ドイツやアメリカなど4月現在37カ国と調印したそうだ。

エマルジョン技術は昨年、毎日新聞や雑誌「地球温暖化」などに掲載され、今年2月にはTV東京WBSなどで紹介され、5月にはG7サミットで世界のメディアに紹介された。

もっと驚くのは、水100%に触媒基を反応させて新ガスを作ることに成功したことだ。少しの水を加え回転させるとガスの発生する触媒基は廃棄物を元に出ていて20年耐用可能。1㍓の水で1000㍓のガスを作れる。このエネルギー検証の為NASAの研究者らが今年に入り3回も滞在し、「地球を1つ創った程の価値がある」と評価している。

CO2を100%削減し、爆発の心配のない安全な低コストの新ガス、7月中旬には名前が決まるらしい。

すでにガス生成BOXの実用化は家電メーカーが乗り出しており、量産すれば家庭用48,000円程とのこと。自動車のトランクに取り付ける実用化も始まっており、トヨタ社長は「もっと早く知りたかった。すでに水素ガスの開発に3兆円も使ってしまった」と語っている。

環境と経済の両方を改善する新エネルギーは、一方で産業構造をも大きく変える。雇用安定の政策も急務である。

(野田美雪)



海とともに生きる困難と希望

湘南のなぎさを守る藤沢市民の会主催の講演会が5月に行われた。瀬戸内海にある祝島は山口県上関町に属し原発問題があり、この島がどのようなものかを詳しく話された。講師は、山秋真さん。「原発をつくらせない人びと一祝島から未来へ」の著者、ルポライターで祝島に滞在したこともあり、島のことを本当に詳しく知っていて、最近の動きを知ることができた。

豊かな漁場があり漁業中心での生活だが上関原発問題が起き1982年に着工された。反対した島民は漁業組合から「祝島外し」され補償金配分や漁業権で納得できないことであり、まだ係争中。

人口約400人の祝島は周囲12km、漁はヒジキ、ワカメなどタイやアジは一本釣り。古くから海とともに生きてきた島である。

対岸の3.5kmに原発予定地がある。原発の事業者は強引な手法で手続きを進め、計画を進めようとしたが祝島をはじめ周辺の住民は現場の浜と海に駆けつけて抗った。その紛争中に福島原発事故が起こり事業者は工事を一時中断、係争は30年以上続いている。

講師は「海がもたらすものは計り知れない～海は流れて留まらない、危機が続いて疲弊しても、豊かな海山ときれいな空気によって回復する。祝島の人々の不屈の持続力によって上関原発予定地の海が今も受け継がれているのではないか」という。漁業補償契約の無効確認を求めた裁判に提訴したが敗訴となった。それでも漁業補償金の受け取りは拒み続けている。漁業補償金をめぐる裁判はまだ解決していない。



「神舞」という神事がある。

大分県国東半島にある伊美の人々が仁和二年(886年)岩清水八幡宮の分霊を奉持し海路中に祝島に漂着した。一行をもてなした祝島の民。それを機に荒神を敬い農耕を始めたことで苦しい生活から向上した。そのお礼にと伊美別宮社に「お種戻し」と称し毎年参拝するよ

〈藤沢エコネットニュース第266号〉

＜低炭素都市ふじさわをめざして＞

うになった。そして4年に一度、別神宮から20余名の神職らを迎えて祝島で合同祭事を行うようになり今に至っている。山口県と大分県の海上4.9kmを3隻の神様船が往復し、大漁旗で飾った奉迎船や伝馬船がおりなす勇壮な海上神事があり、仮神殿では古式豊かに神楽が奉納される。1200年の伝統を誇り山口県指定無形民俗文化財「神舞」に指定されている。(日比遙)

大気汚染(N02)の測定結果 ～市民測定の原点

1960年代、重工業で排出する大気汚染物質が、喘息患者を急増させ、問題になり、環境庁は1967年にS02(亜硫酸ガス)を、1973年にN02(二酸化窒素)の環境基準値(0.02ppm以下)を設定しました。しかしその5年後、1978年に環境基準を大幅緩和し、0.04～0.06ppm内またはそれ以下としました。それに怒り首都圏住民は、市民によるN02一斉測定の運動を起こし、1978年に「大気汚染測定運動東京連絡会」が結成されました。

測定運動は忽ち全国に広がり現在に至っています。環境基準の改悪が測定運動の原点です。今の環境基準をクリアーしても喘息を減らすことはできません。(藤沢の空気を考える会 青柳節子)

2015年12月の藤沢13地区別大気汚染調査結果

	件数	道路沿い	件数	非道路沿	平均ppm
1 片瀬	0	——	6	0.020	0.020
2 鵠沼	7	0.023	9	0.019	0.021
3 辻堂	7	0.063	3	0.019	0.050
4 村岡	3	0.027	13	0.028	0.028
5 藤沢	8	0.054	10	0.039	0.046
6 明治	5	0.015	4	0.014	0.014
7 善行	6	0.014	1	0.013	0.021
8 湘南大庭	11	0.043	9	0.014	0.030
9 六会	3	0.026	11	0.023	0.024
10 湘南台	8	0.031	6	0.013	0.023
11 遠藤	0	——	15	0.019	0.019
12 長後	0	——	4	0.010	0.001
13 御所見	4	0.035	14	0.018	0.022
全地域平均	62	0.033	105	0.019	0.026

ジェット気流にまつわる話し 高層気象観測の使命

当時未知であった高層の気象状況は、気象学的には天気予測（初期には暴風雨などの災害を防止）のために必要であった。観測技術が未熟だったなかで、館野高層気象台の設立の契機になった鹿島灘沖の海難事故が1910年（明治43年）に発生した。多くの漁民が犠牲になった大事故だった。現在の茨城県ひたちなか市にある華蔵院には、この海難事故の慰霊碑があり、国内の多方面から遺族に対して支援の手がさしのべられた経緯が刻まれている。この時、茨城県那珂郡出身の衆議院議員・根本正は高層気象観測の重要性を説き、その後中央気象台の技師・大石和三郎が初代の館野高層気象台長となり、高層大気の観測を実施したことで暴風予測が可能になっていく。

しかし高層の気象状態は、当然のことながら航空機（戦闘機や爆撃機）の性能開発とも密接に関係していた。大石和三郎が生きた時代は、1894～95年の日清戦争、1904～05年の日露戦争、その10年後の第1次世界大戦そして第2次世界大戦へと、国際的な覇権争いが起こる世相に向かう時代でもあった。

この物語の主演である大石和三郎は、ジェット気流を世界で最初に観測した人物である。しかし、学術的には発見者として評価されていない。その経緯はこれから述べることにする。（つづく）

林 陽生（NPO 法人シティ・ウオッチ・スクエア理事長）

2016夏ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南&こどもの国

第9回目のリフレッシュは7/26～7/30に行います。日大宿舎で2泊してからこどもの国で2泊、湘南でリフレッシュします。健康を案じての保養に、福島の子供にとって心地よい保養になればと心配りしながらすすめています。6月に行われた復興支援コンサートにご参加頂きありがとうございました。おかげさまで収益金を頂くことができました。しかし、まだ足りない状態です。どうか暖かいご支援をお願いいたします。

振込は ゆうちょ銀行間で ゆうちょ銀行

記号 00270-8 番号 70820

（福島の子どもたちとともに・湘南の会）

ECNET INFORMATION

▲藤沢せっけんまつり

石けん類の販売 油污れ落とし実演など

7月9日（土）12:00～藤沢名店ビル6階ホール

▲水のおはなし100年後のみずを守る

講師 橋本淳司さん（水ジャーナリスト）

7月16日（土）13:30～明治市民センター4階

主催／問合わせ 藤沢市石けん推進協議会

原水爆禁止2016年世界大会

核兵器のない世界を 参加締切 7/10

広島大会8/4（木）～8/6（土）

総会、分科会、フォーラム とうろう流しなど

世界大会長崎—8/8～8/9

問合わせ 原水爆禁止神奈川県協議会

045-231-6284 FAX 045-261-6577



第26回 フォト・ネイチャー湘南 写真展

7/5（火）～7/10（日）10:00～19:00

藤沢市民ギャラリーにて 最終日は17:00まで

環境施設見学バスツアー

リサイクルプラザ藤沢、北部環境事業所、女坂最終処分場

7月28日（木）8:30～12:00

7/4～15日（金）申込みを、詳しくは広報をご覧ください

藤沢エコネットから

◆会員募集＝年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行（9900）店番（029）

当座預金 0046501 7312 エコネット

◆事務局会議 7月8日（金）14:00～

市民活動推進センター

《編集後記》参議院選挙が7/10に行われる。ここでは原発廃止か、再稼働かを上げたいが争点はたくさんある。憲法だけは守って！と一人ひとりの市民が動き出しているのが特徴のようだ。全国で32の1人区で野党4党で「野党共闘」が実現した。今回から18歳から選挙権が与えられる。

必ず選挙に行こう！（H）